

よりそう

Side by Side



第108号
(陸前高田特号)
編集責任：中村

編集担当者 三好・大淵・中村
「本日のミーティングは洗ってから捨てて下さい。」
ペットボトル・カン・ピンは洗ってから捨てて下さい。

復興へ向けて確かな第一歩(中)

陸前高田・気仙町上長部地区支庁・大谷町

齋藤正宏さんは、ボランティアの富沢さんなどの力を借りて、引越のためのトラックを2台(1000kgと2台)借り、種子の確保等、全ての準備を1/17迄完了。

【いよいよ開始】

10/18(火)、午前10時、**稲田正吾**隊長、**村上智美**隊長の元、活動開始。30人が横一線に並ぶ。試験用として釜山側(川内町の上流部)の一番高い区画に作業を始める。

20日(水)、ボランティアで10/18にも参加して来たボランティア・内田忠助さん(埼玉、今回で3回目、4人と一緒に来た)が農業専門でかなり経験者と内村。早く指導をお願いする。さすがプロ!! 見事なものである。皆さんも具体的に分かった。この日は60名近くが横一線に並ぶ。

【な人と、仮設住宅の方、4人の女性参加】

午後1時より、仮設住宅に住んでおられた女性4人が参加、種蒔き行列に入される。これは、府上地区

長が声をかけておられたお母さんであった。ボランティア一同、猛然とハッスル! 感激と感激の電波が横へ横へ伝わった。

午後2時、一反りの子。で、ターナーという歌。齋藤さんの提案で仮設の田舎の女性を中心に会参加者を記念写真。(写真：齋藤さん撮影したものである。)

内田さんの指導で1/12の分と比べてお母さんが顔面が全くつかって見事。1/18は凹凸がはげしくて1/19はとびかきフォート見には平面にたっている。

【一歩に2倍の面積に挑戦】

このプロジェクトは、夏を越す時期という「タイムリミット」(おそと10/21まで、お母さんの健康問題)があり、釜石・大槌両地区の隊長さんにもお母さん個人ボランティアに誘え、団体ボランティアの準備にもご理解してもらいボランティア人数を多く配置していた。結果、3/19の1/12担当官本は多くの参加者に参加して頂いた。

10/20、70名近いお母さんに横一線に並んでお母さんに内田さんがハンドスピーカーで説明する事に。10/19の経験に基づき、種蒔き行列の後に、石・杉・土を砕く支援隊も配置。一段と効率化される。そして、再び仮設住宅の女性が御2人参加!! 又々感動の瞬間(7/26)

10/24(月) 天気 曇りのち雨
気温 7.2℃
降水確率 50%



10/19 仮設住宅の女性4人が参加(10/19の会)



10/19 4人で記念写真(仮設住宅の女性4人も)

10/24(月)ボランティアミーティングはPM15:00~@体育館